明るさとやさしさに満ちた豊渓中

豊　渓　中　だ　よ　り

練馬区立豊渓中学校
校　長　関根　奈美江
令和８年１１月２日
第10号

人間関係の「良い加減」を育む ～ふれあい月間に寄せて～

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、１１月は今年度２回目の「ふれあい月間」です。本校でも、学校生活を見つめ直し、いじめのないよりよい人間関係について考える期間としています。今月の全校朝礼では、生徒たちに「いい加減」という言葉を通して、人間関係のあり方について話をしました。

「いい加減」と聞くと、「無責任」といったネガティブな印象をもたれがちですが、本来は「良い（よい）加減（かげん）」、つまりお風呂のお湯のように「熱すぎず、ぬるすぎず、ちょうど良いバランスがとれている最高の状態」を表す言葉です。



真面目な生徒ほど「１００点を目指さなきゃ」「全員と仲良くしなきゃ」と自分を追い込んでしまいます。いつものように「すずしろ」を使ってお話しました。固い茎（張り詰めた状態）では強い風で折れてしまい、逆に柔らかすぎる茎（サボりすぎ）では自分の力で立てません。風を受け流し、失敗してもリカバリーできる「しなやかさ」をもつこと。それが自分自身の心と身体の「良い加減」です。

そしてこの「良い加減」は、友人関係にもそのまま当てはまります。「いじめのない学校」とは、「全員が無理に仲良くする学校」ではありません。価値観の違う相手に無理に合わせれば、自分の茎が折れてしまいます。だからといって、合わない相手を排除したり、悪口を言ったりするのは「いじめ」であり、絶対に許されません。また、「自分には関係ない」と無関心になるのとも違います。 互いの違いを認め、存在を否定せず、困っている時にはスッと手を差し伸べる。そうやって礼儀をもって共に学校生活を送る「ちょうど良い距離感」を見つけることこそが、人間関係の「良い加減」であり、本物の適応力だと生徒たちに伝えました。



「加減」とは字の如く、相手や周りの様子をよく理解し、「足したり引いたり」して調整することです。だからこそ、「ふれあいアンケート」には、「おかしいと思うことを見て見ぬふりせず、自分の感じていることを正直に伝えてほしい」と強く呼びかけました。他者からの意見は、６月に生徒に伝えた「自分の行動はどうだったかな」と振り返るきっかけにもなると考えます。

依存するのでもなく、排除や無関心に逃げるのでもない。互いを尊重し合える「良い加減」の人間関係を、学校全体で育んでまいります。ご家庭におかれましても、お子様と「ちょうど良い距離感」についてお話しいただき、もし何か不安な様子が見られましたら、いつでも学校へご相談ください。今月も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【１１月の主な予定】

２日（月）全校朝礼　安全指導
　　進路面談　３年⑥カット
４日（水）区中研研究日
５日（木）進路面談　３年⑥カット
６日（金）ダンスの授業（１年）
　　進路面談　３年⑥カット
８日（日）旭町広場の祭典
９日（月）Ⅲ期時間割始まり　貧血検査
　　マナー講座（３年）
１０日（火）避難訓練
１１日（水）職員会議
１２日（木）⑥カット　専門委員会　ＣＳ協議会
１３日（金）中央委員会　能楽の授業（３年）
１４日（土）土曜授業
　　道徳授業地区公開講座
１６日（月）生徒朝礼
１８日（水）定期考査Ⅲ
１９日（木）定期考査Ⅲ
２０日（金）定期考査Ⅲ（３年のみ）
　　領域別診断テスト（１・２年）
２４日（火）日体大荏原高等学校連携事業
　　カフェスズシロ
２７日（金）校外学習（２年）
　　ＳＳＴ（１年）
３０日（月）全校朝礼